

平成 22 年度「元気発進！子どもプラン」に関する点検・評価（概要）

1 「元気発進！子どもプラン」について

「元気発進！子どもプラン」は、「北九州市基本構想・基本計画（「元気発進！北九州」プラン）」の部門別計画として、子どもの健全育成や子育て支援をより効果的なものにするため、今後の取り組みを総合的、体系的に整理した上で策定した計画である。

2 点検・評価の基本的な考え方

個別事業が計画どおり進捗しているか（アウトプット）だけでなく、個別事業を束ねた施策や計画全体としてどの程度成果が上がっているのか（アウトカム）について点検・評価を行い、施策・事業の改善につなげていく。

点検・評価は、学識経験者や市民、子育て支援関係者等からなる「北九州市次世代育成支援対策地域協議会」の意見を聴きながら行い、その結果はホームページなどで市民に分かりやすい形で公表する。

3 点検・評価の方法

（1）点検・評価の指標

・施策（15）

施策を構成する事業の取り組み内容や、施策ごとに設定している成果の指標などをもとに評価する。

・事業（312）

事業の実施結果などにより、「有効性」「経済性・効率性」「適時性」「市の関与の必要性」の観点から評価するとともに、「今後の方向性」「次年度の計画」を明記する。

また、可能な限り、成果・活動指標を数値により設定し、評価の参考とする。

（2）点検・評価の視点

・施策

成果の指標、構成事業の実施状況などをもとに評価

A：大変良い状況にある B：概ね良い状況にある

C：概ね良い状況とまでは言えない D：不十分な状況にある

・事業（「事業評価票」にて使用する視点）

実施結果、有効性、経済性・効率性、適時性、市の関与の必要性などをもとに今後の方向性を決定

ア：事業の見直しを図ることが可能 イ：休止・廃止を検討

ウ：現状のまま進めることが適当 エ：終了

4 点検・評価の結果概要

「元気発進！子どもプラン」に掲載されている15の施策について、点検・評価を実施した結果、13施策が「概ね良い状況にある」、2施策が「概ね良い状況とまでは言えない」という結果であった。